

科目ナンバリング		P-PUB01 8N022 SJ90					
授業科目名 <英訳>	基礎人類遺伝学演習 (GC限定) Fundamental Human Genetics, exercise			担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科	特定講師	川崎 秀徳
					附属病院	特定准教授	小川 昌宣
					医学研究科	特定助教	吉田 晶子
					医学研究科	特定助教	鳥嶋 雅子
配当学年	専門職	単位数	1	開講年度・開講期	2024・後期		
曜時限	木5	授業形態	演習 (対面授業科目)	使用言語	日本語		
【授業の概要・目的】							
【基本情報】 授業日時：後期木曜5限 教室：G棟3階演習室・状況によりオンライン授業を実施することがある レベル：応用 担当者：川崎秀徳 (科目責任者)、小川昌宣、山田重人、中島健、吉田晶子、鳥嶋雅子							
【コースの概要】 遺伝カウンセラーとして必須である家系図の作成、遺伝医療情報の収集、説明資料や記録の作成、染色体検査・遺伝学的検査の結果解釈などについて、演習を通じて体験することにより、具体的に理解することを目的とする。また、臨床の現場で行われる出生前診断、遺伝性腫瘍の画像診断やサーベイランスの実践についても学習する。							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・家系図作成、遺伝形式推定、再発確率計算を正確に行うことができる ・エビデンスレベルの高い遺伝医療情報を確実に収集し、クライアントに分かりやすく伝えることができる ・チーム医療の一員として医療情報を正しく他の医療スタッフに伝えることができる ・染色体検査・遺伝学的検査それぞれの特性と適応を理解し、結果の解釈を行うことができる ・出生前診断、遺伝性腫瘍の画像診断やサーベイランスについて理解できる 							
【授業計画と内容】							
【第1回】10月3日 <吉田・鳥嶋> 「家系図作成演習」 標準的家系図記載法を学び、遺伝形式および遺伝的リスク推定を学ぶ							
【第2回】10月17日 <川崎 1> 「診療録からの情報収集・医療情報の収集」 診療録からの情報収集のコツを学ぶ。 一般的な医療情報の収集に関して整理する							
【第3回】10月24日 <小川 1> 「生殖補助医療」 生殖補助医療における問題点について、事例を通して検討する							
【第4回】10月31日 <小川 2> 「加齢による妊娠・出産への影響」 女性の加齢に伴う妊娠・出産への影響について、総合的に学ぶ							
【第5回】11月7日 <川崎 2> 「診療録の書き方、説明資料の作り方」 医療者に対する診療録の作成ならびにクライアントに対する説明資料の作成のコツを学ぶ							
【第6回】11月14日 <川崎 3> 「染色体検査G分染法・FISH法」 染色体検査G分染法・FISH法の適応と特徴について理解し、結果を解釈できる							
【第7回】11月21日 <小川 3> 「バリエーションの評価 1」 IRUDなどで新規に同定されたバリエーションの評価について、事例をもとに学ぶ							
【第8回】11月28日 <中島 1> 「がん検診」 がんの検診と遺伝性腫瘍のサーベイランスの相違につ							
----- 基礎人類遺伝学演習 (GC限定) (2)へ続く -----							

基礎人類遺伝学演習（GC限定）(2)

いて理解する

【第9回】12月5日 <川崎4> 「CGHマイクロアレイの結果解釈の基礎」 UCSC Genome Browser、ClinGen、Decipherなどを利用して、CGHマイクロアレイの結果解釈の基礎を学ぶ

【第10回】12月12日 <川崎5> 「CGHマイクロアレイの結果解釈の実践」 実際の症例を通して、CGHマイクロアレイの結果解釈を学ぶ

【第11回】12月19日 <小川4> 「放射線・環境因子・感染症の胎児への影響」 先天異常の原因において5%程度を占める環境因子について理解する

【第12回】12月26日 <山田重人> 「胎児の形態異常の発生と診断」 超音波で診断される形態異常について、その発生学的な発症メカニズムに触れつつ理解を深める

【第13回】1月9日 <川崎6> 「バリエントの評価2」 ACMGガイドラインに基づいたバリエントの評価法を、実際の症例をもとに学ぶ

【第14回】1月16日 <小川5> 「流産絨毛検査、羊水染色体検査」 周産期領域における染色体検査の特徴、注意点について、特に流産や羊水検査を事例として検討し、説明にあたって注意すべき点などを学ぶ

【第15回】1月23日 <中島2> 「遺伝性腫瘍に関する画像診断」 上部下部内視鏡検査、腹部超音波検査、CT、MRI、PET等の画像診断の特性・意義について学ぶ

【履修要件】

遺伝カウンセラーコース1回生限定必修科目（事前確定科目）
先修科目として「基礎人類遺伝学」の履修を原則とする

【成績評価の方法・観点】

積極的な演習への参加、レポート、発表等を総合的に評価する

【教科書】

適宜ハンドアウトを配布

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

適宜指示する

（その他（オフィスアワー等））

講義日程、講師、内容については、多少の変更がある可能性がある

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。